

日本分析化学会九州支部

支 部 ニ ュ ー ス

第 49 号 2025 年 3 月

九州支部ウェブサイト

https://www.jsac.or.jp/~jsac_kyushu/index.htm

支部活動報告

❖ 第1回常任幹事会委員会 ❖

2024年6月4日に第1回常任幹事会委員会がオンラインの形式で開催されました。議事録は下記の九州支部ウェブサイトに掲載されています。

https://www.jsac.or.jp/~jsac_kyushu/index.htm

❖ 2024年度 日本分析化学会表彰 ❖

2024年度の日本分析化学会学会賞に、九州支部より熊本大学大学院先端科学研究部 井原 敏博教授が「合成核酸を利用した生体分析に関する研究」の業績にて選ばれました。誠におめでとうございます。

❖ 2024年度 九州分析化学学会賞および奨励賞 ❖

選考委員会による審査の結果、2024年度九州分析化学学会賞および奨励賞の受賞者は以下の4名に決定いたしました。おめでとうございます。受賞者の方には今後の発展と共に、分析化学会および支部活動への貢献を期待いたします。また、次年度も会員の皆さまからの本奨励賞への積極的な応募をお願いいたします。

1. 学会賞

浜瀬 健司（九州大学大学院薬学研究院 教授）
「キラルアミノ酸および関連化合物の多次元 HPLC 分析法開発」

2. 奨励賞

○永田 優凜（九州大学大学院薬学府）
「脂肪族キラルアミノ酸の三次元 HPLC 分析法開発と健常人および慢性腎臓病患者における含量解析」

○Citra Dewi Rakhmania（佐賀大学大学院理工学研究科）

「Electrochemical Analysis of PQQ-Dependent Alcohol Dehydrogenase Adsorbed Carbon Electrode and Its Application for Alcohol Skin Gas Sensor」

○日高 朋也（鹿児島大学大学院理工学研究科）

「新世代溶液中におけるイオンの動態」

❖ 第61回 化学関連支部合同九州大会 ❖

共催：（公社）日本分析化学会九州支部ほか 7 化学関連支部

期日：2024年6月29日（土）

会場：北九州国際会議場

分析化学関係の依頼講演（15:55-16:25）

中島 雄太 先生（熊本大学）

「医療・創薬に活かすナノマイクロツール開発」

分析化学関係のポスター発表（38件）の詳細については下記の学会サイトをご参照ください。

https://godo-kyushu.jp/godo/program/program_ac.html

九州分析化学ポスター賞受賞者

AC-5-0001：古志 真理子（九大農）

AC-5-0013：岡村 史斗（九大総理工）

AC-5-0022：嘉藤 美来（熊大先端）

AC-5-0033：田中 航慎（九大工）

❖ 九州分析化学若手の会 第37回 若手研究講演会および第42回 夏季セミナー ❖

主催：九州分析化学若手の会・日本分析化学会九州支部

期日：2024年7月26日（金）～7月27日（土）

会場：サンプラザ天文館及び温泉ホテル中原別荘
(鹿児島県鹿児島市)

内容 分析化学に関する若手研究者間の勉強会・講演会

- 招待講演 (2件)
- 九州分析化学奨励賞授賞式・受賞講演 (3件)
- 九州分析化学ポスター賞受賞者模範ポスター発表 (3件)
- 一般ポスター発表 (41件)

第37回若手研究講演会および第42回夏季セミナーを2024年7月26日から27日の2日間にわたり開催しました。コロナ禍で惜しくも中止となった第38回夏季セミナーと同じ会場を利用して、コロナ前の夏季セミナーと同様の形で実施しました。鹿児島での開催にもかかわらず、79名(学生56名、教員・社会人23名)の参加者を迎え、2日間の様々な行事を通じて活発な交流を行いました。

初日は、開会式としてセミナーの概要・スケジュール、九州分析化学若手賞およびベスト質問賞の審査方法について説明した後、招待講演から開始しました。1件目は、株式会社ビズジーンの開発先生によるご講演で、「低分子有機化合物から病原体までを対象とする迅速目視検出技術の展開と応用」というタイトルでご講演いただきました。2件目は、北海道医療大学の佐々木隆浩先生によるご講演で、「ナノ粒子分散一両性分子を用いた丈夫な電気二重層の提案」というタイトルでご講演いただきました。その後、第55回化学関連支部合同九州大会での九州分析化学ポスター賞受賞者による模範ポスター発表(2件、要旨集には3件記載があるが、1名は当日欠席のため発表できず)を実施し、直後に行われた一般ポスター発表の手本となるような発表が行われました。続いて一般ポスター発表を行い、ここでは41件の発表があり、教員や学生が入り交じって活発に討議が繰り広げられた。発表終了後に、参加者全員による投票を経て、5件の九州分析化学若手賞を選定しました。2日目は、まず九州支部の授賞式が行われました。九州分析化学奨励賞を受賞された3名の方の授賞式と第61回化学関連支部合同九州大会において九州分析化学

ポスター賞を受賞された4名の方に対する九州分析化学ポスター賞授賞式を執り行いました。授賞式では、支部長の加地範匡先生(九州大学)から受賞者への賞状の授与、並びに受賞者への祝辞と激励のお言葉をいただきました。その後、3名の九州分析化学奨励賞受賞者による受賞講演を行いました。いずれの受賞者も、完成度の高い講演であり、活発な質疑が行われました。受賞講演3件の終了後、一般参加者による投票が行われ、3件のベスト質問賞を選定しました。続いて九州分析化学若手の会の総会を開催し、若手の会に関連した各種活動報告や会計報告を行なった後、夏季セミナーの授賞式として、九州分析化学若手賞、ベスト質問賞の授与式を行いました。そして閉会式として、次回の夏季セミナーの実行委員長である石井千晴先生(九州大学)より、次回夏季セミナーの案内が行われた後、支部長の加地範匡先生(九州大学)から閉会の挨拶がありました。最後に全員で記念写真撮影を行い、本年度の夏季セミナーを無事終了しました。

招待講演(2件)

- 株式会社ビズジーン 開発邦宏 先生
「低分子有機化合物から病原体までを対象とする迅速目視検出技術の展開と応用」
- 北海道医療大学 佐々木隆浩 先生
「ナノ粒子分散一両性分子を用いた丈夫な電気二重層の提案」

九州分析化学奨励賞受賞講演(3件)

- 日高 朋也(鹿児島大学大学院理工学研究科)
「新世代溶液中におけるイオンの動態」
- Citra Dewi Rakhmania(佐賀大学大学院理工学研究科)
「Electrochemical Analysis of PQQ-Dependent Alcohol Dehydrogenase Adsorbed Carbon Electrode and Its Application for Alcohol Skin Gas Sensor」
- 永田 優凜(九州大学大学院薬学研究院)
「脂肪族キラルアミノ酸の三次元 HPLC 分析法開発と健康人および慢性腎臓病患者における含量解析」

❖ 第62回 分析化学講習会 ❖

九州分析化学ポスター賞模範ポスター発表（2件）

- 古志 真理子（九州大学大学院農学研究院）
「グラファイトカーボンブラック支援レーザー脱離イオン化質量分析法を用いたしょうゆ製品の識別」
- 岡村 史斗（九州大学大学院総合理工学府）
「光音響分光法を用いた過渡吸収による信号増幅と最適化」

九州分析化学若手賞（5名）

- 加隈 綾晟（九州大学大学院工学研究院）
「ヒト直交性酵素」を用いた微小液滴中でのシングルセル ELISA」
- 金光 美勇（大分大学理工学部）
「湯の花を起源とする鉄質沈殿物へのケイ酸の吸着挙動」
- 黒田 晃大（九州大学大学院工学研究院）
「ヒト直交性酵素」キシロシダーゼで増感する沈着型蛍光性基質の開発」
- 三ノ宮 悠介（九州大学大学院薬学研究院）
「タンパク質中のアスパラギン/アスパラギン酸およびグルタミン/グルタミン酸残基の一斉キラル識別分析を可能とする前処理条件の検討」
- 道清 祐輝（九州大学大学院薬学研究院）
「健常人および慢性腎臓病患者における血中アスパラギン・セリンの迅速三次元キラル HPLC 分析」

ベスト質問賞（3名）

- 加隈 綾晟（九州大学大学院工学研究院）
- 黒田 晃大（九州大学大学院工学研究院）
- 中村 紗彩（九州大学大学院農学研究院）



世話人：児玉谷 仁（鹿児島大学理工学研究科）

主催 日本分析化学会九州支部

共催 福岡市、九州大学先端科学技術研究所（ISIT）、九州大学学術研究都市推進機構、日本化学会九州支部、電気化学会九州支部、日本薬学会九州支部、日本食品科学工学会西日本支部、日本農芸化学会西日本支部、日本栄養・食糧学会九州・沖縄支部、日本臨床化学会九州支部、日本水環境学会九州支部、化学工学会九州支部事務局、福岡県環境計量証明事業協会

会場

九州大学伊都キャンパス（〒819-0395 福岡市西区元岡 744）

九州大学馬出キャンパス（〒812-8582 福岡市東区馬出 3 丁目 1-1）

福岡大学理学部（〒814-0180 福岡市城南区七隈 8-19-1）

福岡市産学連携交流センター（〒819-0388 福岡市西区九大新町 4-1）

講義と実習・期日と参加者数

1. GC ガスクロマトグラフィー（参加者数：延べ 33名）

8月8日、9日 九州大学伊都キャンパス

講師：（熊本県立大）白土英樹、（九大院農）井倉則之

A. 化合物の同定（保持指標、マススペクトル）

B. 定量分析（内標準法）

C. 試料導入法（スプリット法、スプリットレス法）

D. 香気成分のサンプリング（固相マイクロ抽出法）

E. 食品の香気成分分析（GC-MS 法）

2. HPLC 高速液体クロマトグラフィー（参加者数：延べ 33名）

8月6～7日 九州大学馬出キャンパス

講師：（九大院薬）浜瀬健司、（福岡大薬）巴山忠

A. 逆相 HPLC の基礎実習と実試料分析（医薬

品・化粧品分析)

B. HPLC 機器の内部構造とメンテナンス

C. HPLC 用超純水製造装置

D. 超高速全自動プレカラム誘導体化アミノ酸分析

E. AI 支援による自動 HPLC メソッド開発システムの紹介

F. 逆相モード, HILIC モードを用いた低分子化合物の分離～汎用から最新の高速分析カラムまでのカラム選択～

G. 極性化合物分析へのアプローチ

H. イオンクロマトグラフィーによる水, 大気などの環境分析ならびに各種品質評価

I. 卓上小型 MS 検出器 ACQUITY QDa を用いる新感覚 LC-MS 分析

J. 円二色性検出器を用いたキラル分離

3. ICP-MS 誘導結合プラズマ質量分析法 (参加者数: 延べ 11 名)

8 月 7 日および 8 日 九州大学伊都キャンパス

講師: (九環協) 天日美薫

A. 無機分析に関する基礎

B. 固相抽出法等による前処理

C. マイクロピペッターの精度管理とメンテナンス

D. ICP-MS 法による金属分析及びメンテナンス

4. X-ray X 線分析 (参加者数: 2 名)

8 月 23 日 福岡大学理学部

講師: (福岡大理) 栗崎敏, 市川慎太郎

A. X 線分析 (回折, 蛍光 X 線分析) の基礎に関する講義と測定及びデータの解析

5. SEM/TEM 電子顕微鏡分析 (参加者数: 3 名)

8 月 9 日 福岡市産学連携交流センター

講師: (九大院理) 宇都宮聡

A. 電子顕微鏡分析 (SEM/TEM) の基礎に関する講義と SEM/TEM による試料観察

6. NMR 核磁気共鳴分光法 (参加者数: 2 名)

8 月 7 日 福岡市産学連携交流センター

講師: (九大院理) 松森信明

A. NMR の基礎と溶液 NMR の測定法

B. 有機物質の構造解析

ランチョンセミナー

(8/6・7, 12:00~13:00, HPLC 会場)

使用機器: 日立ハイテクノサイエンス, サーマフィッシャーサイエンティフィック (ジェイ・サイエンス西日本), 東ソー, 島津製作所, 日本分光, 日本ウォーターズ, ジーエルサイエンス, エムエス機器, 大阪ソーダ, メルク, オルガノの提供による最新機器

❖ 2024 年度 日本分析化学会九州支部 幹事会・授賞講演・講演会・見学会・意見交換会 ❖

期日: 11 月 15 日(金) 13:00~17:30

会場: 久留米リサーチ・パーク 2 階 研修室 E

1. 幹事会

第 2 回常任幹事会委員会が対面形式で開催されました。議事録は下記の九州支部ウェブサイトに掲載されています。

https://www.jsac.or.jp/~jsac_kyushu/index.htm

2. 九州分析化学会賞授賞式・授賞講演・講演会

参加者が 30 名以上で会場が満席となる中、受賞講演が実施され、質疑も活発になされるなど、非常に盛況のうちに終了いたしました。

○受賞講演 浜瀬 健司 先生 (九州大学大学院薬学研究院)

「キラルアミノ酸および関連化合物の多次元 HPLC 分析法開発」

キラル発見の歴史、哺乳類中の遊離 D-アミノ酸の発見、微量分析ゆえの難しさ、2 次元 LC や MS との組み合わせによる分析性能向上、病気の診断への応用など、高感度かつ選択的に D-アミノ酸を分析する方法が紹介されました。



○講演 1 中尾 素直 氏 (株式会社ビーフォー)

「定量リピドーム解析の事業化」

メタボロミクスの基礎、その中でも脂質への着目（リピドミクス）、万に及び数のピークからの定性定量解析法、バイオマーカー探索への展開、リピドミクス受託分析の市場状況などをご紹介いただきました。会場から定量に関する内部標準や応用（クライアント）に関する質問がでました。



○講演2 長坂 圭介 氏（株式会社久留米リサーチ・パーク）

「開放型試験研究施設（オープン・ラボ）の紹介」

久留米リサーチ・パークの位置づけや事業部構成について紹介されました。さらに、活動の内容として、分析化学に関係の深いオープンラボの状況、具体的には、約120種類の分析評価機器の開放（R5年度利用実績5,713件）、相談事例、活用事例（特に異物分析が多い）、使用料金についても丁寧にご説明いただきました。



3. 見学会

久留米リサーチ・パークのオープンラボの見学会を実施しました。実際の分析機器やデータをご紹介

いただき、質疑応答も活発に行われるなど、オープンラボをより深く理解することができました。



4. 懇親会



本部関連

❖ 第35回分析化学討論会 ❖

期日：2025年5月31日(土)～6月1日(日)

会場：愛媛大学城北キャンパス

実行委員長：朝日 剛 (愛媛大学)

❖ Asian Analysis XVII ❖

期日：2025年9月23日(火)～26日(金)

会場：北海道大学 鈴木ホール, 医学部 百年記念館、医学部学友会館 (フラテ)

実行委員長：小澤岳昌 (東京大学大学院理学系研究科)

❖2025年度九州支部からの本部役員❖

○ 理事 (1名) 井上高教 (大分大)

○ 代議員 (8名) 未定

○ 編集委員 ぶんせき：高橋幸奈 (九州大 I2CNER) 分析化学：森 健 (九州大工)

Analytical Sciences：梅木辰也 (佐賀大理工)

今後の支部活動計画

❖ 九州分析化学若手の会 第 38 回 若手研究講演会および第 43 回 夏季セミナー ❖

主催：九州分析化学若手の会・日本分析化学会九州支部

期日：2025 年 7 月 25 日(金)～7 月 26 日(土)

会場：九州大学 病院キャンパス コラボステーション I,II

〒812-8582 福岡市東区馬出3-1-1 予定

内容：

- ・九州分析化学若手の会総会
- ・九州分析化学奨励賞授与式・受賞講演
- ・依頼講演 2 件
- ・模範ポスター発表（九州分析化学ポスター賞）
- ・一般ポスター発表
- ・情報交換会

実行委員長：石井 千晴（九州大学大学院薬学研究院）

実行委員：児玉谷 仁（鹿児島大学理工学研究科理学系）、満塩 勝（鹿児島大学理工学研究科工学系）、江藤 真由美（大分大学理工学部）、秋田 健行（九州大学大学院薬学研究院）、古賀 鈴依子（福岡大学薬学部）、西條 尚（福岡大学薬学部）

❖ 第 62 回化学関連支部合同九州大会❖

実行委員長：井倉 則之（九州大学大学院農学研究院）

代表世話人：椿 俊太郎（九州大学大学院農学研究院）

会期：2025 年 7 月 5 日(土)

会場：北九州国際会議場

依頼講演者：

○日本分析化学会九州支部推薦

馬渡 和真（早稲田大学）

「マイクロ・ナノ流体デバイスによる分析場のサイズ極限の探求」

○高分子学会九州支部推薦

國武 雅司（熊本大学）

「ソフトマター材料化学：マイクロエマルションか

らシリコーンポリマーまで」

○繊維学会西部支部推薦

盛満 裕真（九州大学）

「固体上におけるポリスチレン吸着鎖の熱運動の実空間観察」

○化学工学会九州支部推薦

中川 究也（九州大学）

「多相拡散モデルによる多孔性ガラスマトリクスへの吸湿ダイナミクスの推算」

○電気化学会九州支部推薦

三嶋 祐（株式会社トクヤマ つくば研究所）

「株トクヤマにおける AEM 水電解用電解質材料の開発」

○有機合成化学協会九州山口支部推薦

薬師寺 文華（長崎大学）

「ヒストンメチル化を操る新規化学プローブの創製と機能解析」

○日本化学会九州支部推薦

平松 光太郎（九州大学）

「高速分光法の開発と生命科学応用」

○日本農芸化学会西日本支部推薦

平川 英樹（九州大学）

「植物のゲノム配列の解読とその応用に向けた研究」

❖ 2025 年度支部執行部・役員 ❖

○執行部

支部長 井倉 則之（九大院農）

次期支部長 吉田 秀幸（福大薬）

副支部長 廣沢 一郎（九州シンクロトロン光研究センター） 児玉谷 仁（鹿児島大理）

監事 加地 範匡（九大院工） 宮崎 真佐也（株式会社 HaKaL）

庶務幹事 椿 俊太郎（九大院農）

会計幹事 矢代 民美子（九大院農）

○常任幹事（14 名）

（九工大・福教大・九共大）

佐藤しのぶ

（九州工業大学）

(九大院理)	松森信明 (九大院理)
(九大院工)	藤ヶ谷剛彦 (九大院工)
(九大院薬・第一薬大)	浜瀬健司 (九大院薬)
(九大院農・九産大・福女大)	田中 充 (九大院農)
(九大筑紫・近大九州工)	原田 明 (九州大学総理工)
(福岡大)	吉田秀幸 (福岡大薬)
(佐賀)	野間誠司 (佐賀大農)
(長崎・熊本)	佐藤 博 (長崎国際大薬)
(長崎・熊本)	戸田 敬 (熊本大院先端)
(大分・宮崎)	大島達也 (宮崎大工)
(鹿児島・沖縄)	満塩 勝 (鹿児島大理高)
(企業・官公庁)	松尾隆司 (ジェイ・サイエ ンス 西日本)

事務局より

❖ 各賞推薦依頼および規定 ❖

▼ 九州分析化学会賞応募規定（抜粋）

対象者：原則として九州在住もしくは九州の研究教育機関・企業等に在籍し、かつ日本分析化学会の正会員にして、分析化学に関する研究、教育及び九州支部の運営において功績が顕著であり、九州の分析化学の発展に多大なる貢献をした者で、受賞の年の1月1日現在、原則として20年間以上引き続き本会会員であり、満65歳以下の者。

必要書類・締切：推薦者はA4紙1枚の推薦書（指定用紙）、被推薦者の業績目録、被推薦者本人による業績内容の説明文（図表等を含めA4紙4枚程度、教育・支部運営についてA4紙1枚程度、英文も可）の正本1部、写し9部（計10部）を4月末日までに支部長に送付。

▼ 九州分析化学奨励賞応募規定（抜粋）

対象者：原則として、九州に在住もしくは九州の研究教育機関・企業等に在籍し、かつ日本分析化学会会員で、受賞年度の4月1日において満30歳未満の者。ただし、修士課程（博士前期課程）及び博士課程（博士後期課程）に在籍する場合には満35歳未満の者。非会員は受賞時まで日本分析化学会の入会申請をしなければならない。

必要書類・締切：推薦者はA4紙1枚の推薦書（指定用紙）、被推薦者の論文目録、講演題目のリスト及び論文等の別刷りの一部（複数可）、さらに被推薦者本人による研究内容の説明文（A4紙2枚、英文可）及び図表等（5枚程度）の正本1部、写し8部（計9部）を指定期日（受付期間：4月1日～4月30日）までに支部長に送付。

*募集要項の詳細は支部のホームページをご覧ください。申請に必要な書類ファイルもダウンロードできます。

❖ 編集後記 ❖

2023年4月に早稲田大学情報生産システム研究科に異動してきたばかりで、九州支部の状況を不勉強のまま副支部長を1年間努めさせていただきました。至らぬところが多々あったかと思いますが、

大きな問題なく無事終了でき、皆様に感謝申し上げます。

最後になりますが、会員の皆様には一年間のご支援に感謝いたしますと共に、次年度も日本分析化学会九州支部への一層のご指導、ご支援をお願い申し上げます。

（副支部長 馬渡 和真）



2024 年度 日本分析化学会九州支部 事務局

〒819-0395 福岡県福岡市西区元岡 744 番地 九州大学大学院工学研究院 応用化学部門 加地研究室

支部長 加地 範匡（九州大学大学院工学研究院）

副支部長 宮崎 真佐也（株式会社 HaKaL）

副支部長 馬渡 和真（早稲田大学大学院情報生産システム研究科）

庶務幹事 田中 充（九州大学大学院農学研究院）

会計幹事 井手 幸子（九州大学大学院工学研究院）